

第5学年 外国語科学習指導案

令和5年11月13日(月) 第5校時

宇佐市立長洲小学校

5年1組 28名

指導者 佐藤 華乃 (HRT)

クリステン (ALT)

1. 単元名 自分たちの考えたオリジナルおもちレシピを英語で紹介しよう！

(Junior Sunshine 5 Lesson 8 What would you like?)

2. 単元について

(1) 児童について

令和4年度に実施した英検 ESG の結果を見ると、「スピーキング」・「ライティング」では、すべての領域で目標値を上回る結果だった。特にスピーキングの正答率が高く、日頃の意欲的なやり取りの成果が表れていると言える。ライティングでは、個人差が見られるものの、スピーキングと合わせたスコアは全員が「よくできました」のレベルであった。一方、「リスニング」・「リーディング」では、リスニングが苦手な児童が数名見られた。児童同士のやり取りの中で、聞き取ることへの意識付けに課題があることが分かった。リーディングは正答率が高く、文字や音声と照らし合わせて、絵カードや写真などの視覚的情報を頼りにしながら読み取ることができている。

日頃の授業の様子を見ると、本学級の児童はチャンツやゲームが大好きで、大きな声で意欲的に参加することができている。友だちや ALT とのやり取りでも進んで話そうとする姿が見られる。一方で、友だちと自分の考えをやり取りする場面では、話すことに自信がもてず、消極的になってしまう児童もいる。そのため、明確な単元のゴールを設定し、繰り返し言語材料を活用する機会を継続的に取り入れることで、自信を持って活用できるようにする必要がある。「書くこと」では、アルファベットを4線の上に書いたり、簡単な文章の一部の単語をなぞったりお手本を見て書いたりするなどの練習をしてきたが、個人差が大きく、十分な定着には至っていない。

(2) 教材について

本単元では、食べ物や飲み物、様々な国のランチメニューについて扱い、食べ物や飲み物の言い方、値段や欲しいものを尋ねる表現について学習していく。言語材料としては、“What would you like?/I'd like~.”などパターン化された文型や“This is ~.”など既習の表現を使うため、難易度は高くない。同じ表現を単元の中で繰り返し扱い、教材の音声や教師の発話を聞き取ったり、Small Talk や簡単なやり取りで何度も話したりすることで、自分の考えや気持ちなどを伝えることができる基礎的な力を養いたい。

(3) 指導について

本単元は、総合的な学習「challenge! 長洲の米作り」と関連付けて指導を行う。本学級の児童は、7月に地域のゲストティーチャーとの田植え体験を行っており、2学期には稲の観察や田んぼの草取り、稲刈りを行う予定である。また、稲刈りまでの間に、収穫したもち米を使ったオリジナルおもちレシピを考案する活動を行っている。それに対し、外国語の時間では、クラスの友だちや長洲小の先生、ALT により広く知ってもらうために、オリジナルおもちレシピを英語で紹介するという言語活動を位置付ける。

導入では、総合的な学習の内容を想起し、オリジナルおもちレシピを英語で表現することでより多くの人に伝えたいという児童の表現意欲を高めることを大切にしたい。また、毎時間の始めには、本校の教員が英語でオリジナルおもちレシピを紹介する動画を児童に視聴させ、レシピ紹介に意欲をもち、単元のゴールの姿をイメージできるようにする。“What would you like?/I'd like~./~, please.”など新出表現については、HRT と

ALT のやり取りを見せたり、カードや具体物を用いて視覚的な理解を促したりする。単元末のオリジナルおもちレシピの発表に使う表現（食べ物の言い方，“This is ~.”など）については、教材や教師の発話を聞いたり、Small Talk や簡単なやり取りで何度も話したりすることで、自分の考えや気持ちなどを伝えることができるようにする。また、発表練習の場面では、児童の端末に ALT の発表動画やヒントカードを送ることで、困ったときにすぐ確認でき、安心して活動に取り組めるように支援する。発表後には、レシピを紹介した ALT にコメントをもらうことで、満足感や達成感をもち、次への学習意欲を高めるようにしたい。

3. 言語活動の視点「話すこと（発表）」【他教科との関連：総合的な学習の時間】

必然性	総合的な学習の時間に考案したオリジナルおもちレシピを、より多くの人（クラスの友だち、ALT の先生、校内の先生、地域の方）に広げるために、英語で表現する。
ほんもの	作ったオリジナルおもちレシピは実際に家庭科の時間を利用して自分たちで作ってみる。完成したレシピ集の英語版は、家族や地域の方、先生に配付したり、地域の販売店に置かせてもらったりする。
相手意識	長洲のもち米を使ったおもちをおいしく食べるオリジナルおもちレシピをクラスの友だち、ALT の先生、校内の先生、地域の方に紹介し知ってもらう。
コミュニケーションの楽しさ	オリジナルおもちレシピを紹介した地域の方や新しく来た ALT、校内の先生に反応やコメントをもらうことで、満足感や達成感をもち次への表現意欲を高める。

3. 単元の目標

自分たちの考えたオリジナルおもちレシピについて、Would you like~? / I'd like~. / This is ~. / It's~yen. などの表現を用いて、おもちレシピや値段、レシピの魅力などを話すことができるようにする。

4. 関連する学習指導要領における領域・目標

話すこと 【発表】	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
--------------	---

5. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><知識>オリジナルおもちレシピを紹介する表現（This is ~.）やその関連語句（What would you like?・食べ物・飲み物・値段など）について理解している。</p> <p><技能>I'd like~. This is ~.などの表現を使って、オリジナルおもちレシピについて味に関わる表現等を加えて具体的に話す技能を身に付けている。</p>	<p>オリジナルおもちレシピの中身や魅力をよく知ってもらうために、自分の考えや気持ちなども含めて話している。</p>	<p>オリジナルおもちレシピの中身や魅力をよく知ってもらうために、自分の考えや気持ちなども含めて話そうとしている。</p>

6. 単元指導計画（全7時間扱い）

◎は記録に残す評価、○は指導に生かす評価

時	目標と主な活動	知	思	主	評価規準
1	<p>「オリジナルおもちレシピを英語で紹介しよう！」</p> <p>HRT の作ったオリジナルおもちレシピの紹介を聞き、レシピの言い方に興味をもち、学習のゴールと今後の見通しを持つことができる。</p> <p>言語材料：おもちレシピの食材に関する英単語</p>	○			<p><知識・技能></p> <p>This is ~.など食べ物やメニューを紹介する表現を理解している。</p> <p>【行動観察】</p>

	(cheese, seaweed, sugar, salt, soy sauce, mayonnaise など) 味に関する形容詞 (sweet, salty, hot, sour, delicious など)				
2	「どんなおもちレシピを考えたか、友だちに伝えよう」 Would you like~? / I'd like~.の表現を用いて自分のおもちレシピについて簡単に伝えたり友だちのレシピについて聞きとったりすることができる。 言語材料: Would you like~? / I'd like~. / This is ~mochi. 味に関する形容詞 (sweet, salty, hot, sour, delicious など)	○			〈知識・技能〉 Would you like~? / I'd like ~ / This is ~mochi.など自分のおもちレシピを紹介する表現を理解している。 【行動観察】
3	「オリジナルおもちの値段を伝えたり答えたりしよう」 自分の考えたオリジナルおもちの値段を設定し、友だちと値段についてやりとりをすることができる。 言語材料: It's ~ yen. / How much? / 数字表現 (値段)	○			〈知識・技能〉 あるものの値段を尋ねたり答えたりする表現について理解している。 【記述分析】
4	「自分のおもちレシピに使っているものを言い表そう」 先生のオリジナルおもちレシピの紹介を参考に、自分のオリジナルおもちレシピの英語での言い方 (使う具材や調味料などについて) を考えることができる。 言語材料: This is ~. (使う具材や調味料の紹介)	○	○		〈知識・技能〉 オリジナルのおもちレシピの英語での言い方を理解している。 〈思考・判断・表現〉オリジナルおもちレシピを英語で伝えるために、既習表現を想起したり、適当な表現をすすんで探したりしながら相手に伝わるように表現している。【記述分析】
5 本 時	おもちショップを開き、友だちにレシピの魅力が伝わるように紹介しよう！ おもちショップの店員役とお客さん役に分かれて、店員は自分のおもちレシピをお客さんに紹介し、お客さんはレシピや値段について店員に尋ねることができる。 言語材料: You can eat~. / It's~. (味に関わる形容詞)	○	○		〈知識・技能〉 オリジナルおもちレシピを値段とともに友だちに伝えることができる。 〈思考・判断・表現〉 既習の表現や味に関する表現を加えてオリジナルレシピを表現している。 【行動観察・提出動画分析】
6	「オリジナルおもちレシピを英語でクラスの友だちに紹介しよう」 オリジナルおもちレシピについて、5 時までに学習した簡単な語句や基本的な表現を用いてクラスの友達に発表することができる。		◎	◎	〈思考・判断・表現〉 《オリジナルおもちレシピやレシピについての自分の考えや気持ちを、簡単な語句や基本的な表現を用いて》紹介している。 〈主体的に学習に取り組む態度〉 《同上》紹介しようとしている。 【記述分析・提出動画分析】
7	「オリジナルおもちレシピを ALT に英語で紹介しよう」 オリジナルおもちレシピやレシピについての自分の考えや気持ちを、6 時までに学習した簡単な語句や基本的な表現を用いて ALT に発表することができる。		◎	◎	〈思考・判断・表現〉 《オリジナルおもちレシピやレシピについての自分の考えや気持ちを、簡単な語句や基本的な表現を用いて》紹介している。 〈主体的に学習に取り組む態度〉 《同上》紹介しようとしている。 【行動観察・提出動画分析】

7. 本時の指導（5／7）

(1) 題目 おもちショップを開き、友だちにオリジナルおもちレシピの魅力が伝わるように紹介しよう！

(2) 本時のねらい

自分のオリジナルおもちレシピについて、Would you like~?の表現やレシピの紹介、値段などをクラスの友達に英語で伝え合う活動を通して、表現に慣れ親しみ、既習の表現や味に関わる表現を加えてオリジナルレシピを表現することができている。

(3) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	備考・評価
5	<p>【Greeting・Warm up】</p> <p>○ALT,HRT と始めのあいさつをする。</p> <p>○長洲小の～先生のオリジナルおもちレシピの紹介を聞きとる（動画）。</p> <p>○動画から聞き取った内容を全体で交流する。</p> <p>○もう一度聞いて、内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長洲小の～先生の紹介するおもちのレシピ、使われている具材、値段に注目させて聞き取らせ、聞き取れたことを全体で確かめる。 ・児童に身につけさせたい英語表現を動画に入れ込み、児童が単元のゴールを明確にイメージし、意欲づけできるようにする。 	<p>動画は配付しておく</p>
15	<p>【Activity】</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>		
<p>【Today's goal】 おもちショップを開き、友だちにオリジナルおもちレシピの魅力が伝わるように紹介しよう！</p>			
	<p>○HRT（お客役）ALT（店員役）のデモンストラクション A・B を行う。</p>	<p>A…形容詞・Can の表現なし</p> <p>B…形容詞・Can の表現あり</p>	
<p>店員役：Would you like Mentaiko? お客役：Yes.</p> <p>店員役：This is "Mentai mochi".</p> <p style="text-align: center;">This is seaweed.</p> <p style="text-align: center;">This is mayonnaise. お客役：OK. How much?</p> <p>店員役：It's 900 yen. お客役：I see.</p>		A	
<p>店員役：Would you like Mentaiko? お客役：Yes.</p> <p>店員役：This is "Mentai mochi".</p> <p style="text-align: center;">This is mayonnaise. This is seaweed.</p> <p style="text-align: center;"><u>You can mix mentai and mayo.</u></p> <p style="text-align: center;"><u>It's not hot.</u></p> <p style="text-align: center;"><u>It's very delicious.</u> お客役：Wow! How much?</p> <p>店員役：It's 900 yen. お客役：I see.</p>		B	
	<p>○A・B を比較させ、どんな表現があればよりレシピの魅力が伝わるか、またレシピを紹介する上で、形容詞を用いて味の表現をする良さについて考えさせる。</p>	<p>・個人で付け足す文を考える時間を確保する。</p>	
<p>【個】 文をつけ足せず困っている児童は、ロイロノートの味に関する形容詞を用いた例文から適当な文を選ぶことによって、自分のレシピに合う一文を付け足すことができるようになる。</p>			
8	<p>○自分のオリジナルおもちレシピをおもちショップの店員役となって友だちに紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・HRT,ALT は机間指導を行う。 ・支援の必要な児童にはロイロノートで 	<p>〈知識・技能〉 レシピ紹介のや</p>

<p>10</p>	<p>また、お客役となってレシピの紹介を聞く。 ○時間内にペアの相手を変えて繰り返す。</p> <p>【Mid-term evaluation】 ○中間指導を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>取り上げたい表現例 You can eat cheese and vegetables. (既習) It is delicious. (形容詞) ※既習表現の can や味に関わる表現を取り入れた発表</p> </div> <p>5 ○店員役とお客役を入れ替えて、2回目のやりとりを行う。</p>	<p>送った ALT の動画を参考にして紹介させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体に紹介したい児童の様子を動画で記録し、中間指導に活用する。 ・中間指導では、活動中の困りやもっと言いたいことなどを取り上げ、ALT とともにどのように言ったらいいか考える。 ・詳しいレシピ紹介や既習表現の活用ができていたペアの様子を動画で再生し、どのような工夫やよさがあるか全体で考えさせる。 	<p>りとりに必要な表現 (Would you like ~? / This is ~. It's ~ yen.) および関連語句について理解している。</p> <p>〈思・判・表〉 既習の表現や味に関わる表現を加えてオリジナルレシピを表現している。</p> <p>【行動観察・提出動画分析】</p>
<p>2</p>	<p>【Reflection】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【振り返り】 オリジナルおもちレシピがどんな味かを紹介できた。 友だちの言い方を取り入れてみたら、前より詳しく紹介できた。 前に学習した can の言い方を使うことができた。</p> </div> <p>○ALT, HRT と終わりのあいさつをする。</p>		
	<p>【Homework】 ○自分のレシピ紹介をロイロノートで録音・提出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の Activity を受け、付け足しや改善をした自分のレシピ紹介を整理し、ロイロノートで録音して HRT に提出させる。 	